

保健センター通信
ホケセンだより問 保健センター
☎ 85-2555

よ〜く考えよう！がん検診は大事だよ〜

がんは、日本人の2人に1人がかかる病気とされ、いつ、誰ががんにかかってもおかしくありません。一方で医療技術の進歩により、早期に発見・治療することで治る可能性が高くなっています。

がんは決して他人事ではありません。自分や大切な人を守るため、定期的ながん検診を受診しましょう。



がん体験をされた方からのメッセージ（町内在住・60代男性）

■検診を受けたきっかけ

退職後は職場健診がなくなり検診を受けるきっかけがなくなっていました。家系にがんの人もおらず、「自分は大丈夫」「来年受ければいい」と思っていたのですが、周囲に勧められて徐々に受診しました。

■検診で「要精密検査」と言われたとき

自覚症状もなく「大丈夫だろう」と思いながら精密検査を受けました。腫瘍も良性だろうと期待しましたが、結果はがんでした。

とてもショックでしたが、ためらわず精密検査を受けたからこそ早期に発見できました。医師の勧めどおり精密検査を受けて本当に良かったと思っています。

■治療を受けて感じたこと

早い段階で発見できたため、放射線治療や抗がん剤治療は必要なく、手術だけで治療を終えることができました。実はその後、別のがんも見つかり、1年の間に何度も手術を受けましたが、そのたびに早期発見の大切さを実感しました。

■皆さんへ

検診のおかげで早期にがんが見つかり、大きな苦しみを経験せずに済みました。後遺症は多少ありますが、今では趣味を楽しみ、普段どおり体を動かすことができます。

「検診でがんが見つかるのが怖い」という声をよく耳にします。しかし、今は最善の治療を受けることができ、早期に発見できれば仕事や普通の生活に戻ることもできます。

怖がらずに、ぜひがん検診を受けていただきたいと思います。

がん検診受診先一覧

✓ 受診可能

検診の種類	対象年齢	料金	びっぶクリニック	旭川がん検診センター	町総合特定健診
胃がん（カメラ）	50歳～	5,000円	✓	✓	－
胃がん（バリウム）	30歳～	1,500円	－	✓	✓
肺がん	30歳～	500円	✓	✓	✓
大腸がん	30歳～	500円	✓	✓	✓
子宮がん	20歳～	1,900円	－	✓	－
乳がん（2方向）	30歳～49歳	2,200円	－	✓	－
乳がん（1方向）	50歳～	1,800円	－	✓	－
前立腺がん	50歳～	900円	✓	✓	✓

「自分は大丈夫」と思わず、定期的に検診を受けましょう！



地域包括支援センターは高齢者の相談窓口です

問 地域包括支援センター
（役場保健福祉課内）
☎ 85-2112

共にみんなで生きるための「新しい認知症」

■認知症はごく身近な病気です

日本では、令和4年時点で高齢者の約3.6人に1人が認知症又はその予備群と推計されています。また、65歳以下で発症する若年性認知症の方は、約3.6万人との推計もあります。

年齢にかかわらず、認知症は誰もがなり得るものです。認知症を自分ごととして理解し、認知症になっても変わらない日常生活が送れるように備えておくことが必要です。

■広まる「新しい認知症観」

令和6年に「共生社会の実現を推進するための認知症基本法」が施行され、「新しい認知症観」という考え方が示されました。

認知症の人が尊厳を保ちながら希望を持って暮らすことができる地域社会を実現するためには、認知症を特別なものと捉えるのではなく、認知症に対する偏見や誤解をなくしていくことが必要です。

これまでの誤解のある認知症観
認知症になったら、
何もわからなくなる・できなくなる



認知症ご本人の尊厳が
尊重されない地域

新しい認知症観
認知症になってもできること・やりたいこと
があり、希望をもって暮らすことができる※



※認知症基本法より

認知症になっても希望
をもって暮らせる地域

■オレンジカフェに参加しませんか？

認知症を有する方やご家族、認知症や介護について知りたい方を対象に、オレンジカフェを開催しています。日々の悩みや思いを語り合える場です。お気軽にご参加ください。

日時：（第3回）10月27日（火）、（第4回）令和9年1月26日（火） 午後2時～午後3時

開催場所：無憂苑（グループホーム）

内容：茶話会など

緊急通報システムについて

一人暮らしをされている高齢者などが急病や災害が起きたときに消防等に連絡できる通報装置を貸与します。

●通報装置の機能について

非常時にボタン一つで自動的に通報できます。通報装置の設置と同時に各種センサーを取り付けますので、火災などのときに自動的に通報装置が作動します。

対象者 おおむね 65 歳以上で虚弱、病気がちな単身世帯、高齢者世帯、障害者世帯

利用料 月額 500 円（ただし、回線が必要な場合は別途料金月額 1,100 円かかります。）

問い合わせ先

役場保健福祉課 社会福祉室
福祉係

戦没者追悼行事を開催します

町では、先の戦争で亡くなられた方々を追悼する場として、戦没者追悼行事を開催します。

当日は、献花台の設置及び戦争に関わるパネル展を開催し、どなたでも来場が可能です。

日時 9月3日(木)

午前 10 時～午後 5 時

場所 図書館視聴覚室

問い合わせ先

役場保健福祉課 社会福祉室
福祉係



生活・仕事巡回相談会

かみかわ生活あんしんセンターでは、仕事やお金、家族、人間関係など、暮らしに関する悩みごと、困りごとについての相談を受け付けています。事前予約制です。

相談日 8月20日(木)

時間 ①午後 1 時～1 時 50 分

②午後 2 時～2 時 50 分

場所 福祉会館第 4 研修室

定員 ①②各 1 人

申込方法 相談日前日の午後 3 時までに電話、FAX、メールで申込
相談料 無料

申し込み・問い合わせ先

かみかわ生活あんしんセンター

☎ 38-8800 FAX 33-0021

✉ anshin@kamikawa19.hokkaido.jp



きたよん通信

地域生活支援拠点ってなに？④

今月は地域の体制づくり「すーぱーきたよんちゃんライフサポート」略称：きたサポについて説明します。

●きたサポとは？

障がいのある方が、住み慣れた地域で暮らしていけるように活動（見守り、声かけ、話し相手など）していただき、安心できる関係づくりをさします。

●きたサポ Q & A

Q 1. きたサポの活動は、どんなことをするの？

A 1. 見守り、声かけ、話し相手などのサポートが主な活動になります。

Q 2. きたサポの活動に参加する

にはどんな手続きが必要？

A 2. きたサポは、登録制です。関心のある方や詳しい内容をお聞きになりたい方は、きたよんまでご連絡ください。

Q 3. きたサポに登録するのに決まりはあるの？

A 3. 当麻町、比布町、愛別町、上川町に在住、在勤の 20 歳以上の方なら、誰でも登録することができます。

Q 4. 障がいのある人と接したことがないので不安です。

A 4. 活動のまえに、留意事項やサポートに必要な情報を共有します。サポートを行う中での不安なことや、対応時の手立て等についても話し合いをしながら進めていきます。

お気軽にお問い合わせください。



きたよんちゃん

上川中部基幹相談支援センター「きたよん」

当麻町 3 条東 2 丁目 11-1 (当麻町役場庁舎内)

☎ 84-7111 FAX 84-7333 ✉ kitayon@potato.ne.jp

開設時間 月～金曜日(祝日を除く) 午前 8 時 30 分～午後 5 時 15 分

障がい者虐待防止センター専用電話 (24 時間対応) ☎ 84-7222

